

□ 教科書 P.39~41 を見ながら、今までの実験の化学反応式を考えよう

○酸化銀の熱分解

・酸化銀を加熱すると、(①)と(②)に分かれる。この分解を物質名の式で表すと、
(③) → + () となる。これをモデルと化学式で表すと、



これを化学反応式に当てはめたいが、反応前と反応後の酸素原子の数が一致しない。これを合わせるために、(⑥ 左側 ・ 右側)に(⑦ 酸化銀を1つ加える ・ 酸素原子を1つ加える)。銀原子も同様に数を一致させ、モデルと化学式で表すと

⑧
モデル
化学式

最後に、同種のを係数でまとめて化学反応式になおすと



○炭酸水素ナトリウムの熱分解

P.13の実験1では炭酸水素ナトリウムの熱分解を学習した。

炭酸水素ナトリウムは加熱すると、(⑩)と(⑪)、(⑫)の3つに分解される。酸化銀の時の流れを参考に化学反応式で表してみよう。ただし、炭酸水素ナトリウムの化学式は NaHCO₃、炭酸ナトリウムの化学式は Na₂CO₃である。

⑬

